



国際交流基金

<http://www.jpf.go.jp/>

PRESS RELEASE

April 3, 2006, No.150

「CHIKAKU:四次元との対話

岡本太郎から始まる日本の現代美術」展開催

ジャパンファウンデーションは、昨年グラーツ（オーストリア）とビーゴ（スペイン）で開催された展覧会“CHIKAKU：Time and Memory in Japan”の帰国展を開催します。

21世紀に入り、世界的にその独自性が注目される日本の芸術表現の特異な展開を「知覚の変容」という視点からあらたに読み解き、新しい形式で提示する展覧会です。

会期： 4月8日(土)～6月25日(日)

会場： 川崎市岡本太郎美術館 <http://www.taromuseum.jp>
神奈川県川崎市多摩区枡形 7-1-5
小田急線「向ヶ丘遊園」駅下車南口徒歩 17分

企画： 伊藤俊治（東京藝術大学教授）

展示設計： 渡辺 誠

出品作家： 岡本太郎、森山大道、中平卓馬、杉本博司、渡辺誠、森脇裕之、
やなぎみわ、伊藤高志、草間彌生、笠原恵実子、日高理恵子、須田悦弘、
中村哲也、小谷元彦、トリン・ミンハ

記念シンポジウム：4月16日(日)14:00-16:00「四次元の知覚」
進行：伊藤俊治、パネラー：港千尋（写真家・美術評論家）今福龍太（文化人類学者）
料金：無料・場所：川崎市岡本太郎美術館ガイダンスホール・当日受付（先着順70名）

記念講演会：6月18日(日)14:00 -
中沢新一（多摩美術大学教授）
料金：無料・場所：川崎市岡本太郎美術館ガイダンスホール・当日受付（先着順70名）

その他、5月にもシンポジウムを予定。